

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)  
**【単独・連携事業】**

市町名	那須烏山市
-----	-------

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	那須烏山市ふるさと応援隊事業	総事業費	2,500,000	2,900,000	3,700,000	3,700,000	3,700,000	16,500,000
		うち市町支出額	1,000,000	1,000,000				2,000,000
		うち県交付金	500,000	500,000				1,000,000
2	那須烏山市観光交流促進事業	総事業費	1,120,000	1,040,000	990,000	500,000	500,000	4,150,000
		うち市町支出額	1,000,000	840,000	740,000			2,580,000
		うち県交付金	500,000	420,000	370,000			1,290,000
3	那須烏山市木の駅プロジェクト	総事業費	2,100,000	2,100,000	1,900,000	1,900,000	1,900,000	9,900,000
		うち市町支出額	1,000,000	1,000,000				2,000,000
		うち県交付金	260,000	260,000				520,000
4		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	5,720,000	6,040,000	6,590,000	6,100,000	6,100,000	30,550,000
		うち市町支出額	3,000,000	2,840,000	740,000	0	0	6,580,000
		うち県交付金	1,260,000	1,180,000	370,000	0	0	2,810,000

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須烏山市
事業名	那須烏山市ふるさと応援事業
事業主体の名称	那須烏山市ふるさと応援隊
代表者の名称	岡崎 一徳
事業主体の所在	那須烏山市金井2-17-8
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:農産物や加工品の販売による農家所得の増加、農業体験を通じた都市と農村の交流</li> <li>・設立年月日:平成27年6月12日</li> <li>・構成員等:7名(那須烏山市に居住し、賛同する住民)</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	八溝地域では、農業従事者の高齢化及び担い手不足により耕作放棄地の拡大しているため、安定した雇用の観点からも収益率の高い農産物の生産と販売及び農作物の安定供給するかが課題である。また、地域外へのPR不足により、観光客等交流人口の低迷している現状(特に都市住民)であり、都市住民を呼び込むため、農家民泊が出来る農家を確保し、交流人口の拡大に結びつくよう、地域を活性化していくかが課題である。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>①農産物販売や農業体験を通じた耕作放棄地の拡大防止。</li> <li>②農業体験・観光PRによる都市と農村の交流人口の増加。</li> </ul>
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①農産物の安定供給及び販売拡充 <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物を全て買い取るにより生産意欲の拡大が増し、耕作放棄地の拡大を防止。</li> <li>・販売する作物の選定や冬期の農作物の確保。</li> <li>・地元農産物を都市部のJR大宮駅西口等で販売。</li> <li>・豊島区、世田谷区、和光市への参加応援及び市、県のイベント参加。</li> </ul> </li> <li>②都市住民との交流に向けた調整。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市住民をターゲットとした田舎暮らし体験や地元農家への受け入れによる農業体験などの体験ツアーの実現に向け調整。</li> <li>田舎暮らし体験ツアー:平成29年以降実施予定。</li> <li>農業体験ツアー:平成29年以降実施予定。</li> </ul> </li> <li>③情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・PR用にチラシ2000枚を作成し、販売時に配布。</li> <li>・大宮の地元紙に新聞折込もしている。</li> </ul> </li> </ul> <p>【平成29年度】</p> <p>前年度の反省点を踏まえ、改良しつつ上記の事業に加え、農業体験ツアー等を実施予定。また、休耕田を活用した農作物の栽培についても検討課題として取り組んでいく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:本市における安定した雇用を創出し、安定して働けるようにする。 KPI:遊休農地面積 H26年度 280ha→H32年度 273ha</p> <p>基本目標:本市への新しいひとの流れをつくる KPI:観光入込数 H26年度 471,027人→H32年度 年間70万人以上 田舎暮らし体験等の体験ツアー等の参加者数 H26年度 72人→H32年度 年間200人以上</p> <p>基本目標:時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る KPI:まちづくりチャレンジプロジェクト事業の採択団体数 H32年度 12団体</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	地元農産物を都市部で販売 地元農家受け入れによる農業体験企画 都市部での観光PR	地元農産物を都市部で販売 地元農家受け入れによる農業体験実施 都市部での観光PR			地元農産物を都市部で販売 地元農家受け入れによる農業体験実施 都市部での観光PR
事業費	2,500,000	2,900,000		5,400,000	3,700,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000		2,000,000	
うち県交付金	500,000	500,000		1,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,500,000	1,900,000	0	3,400,000	3,700,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	那須烏山市まちづくり課 まちづくりグループ
担当者名	阿相美由紀
電話	0287-83-1151
FAX	0287-83-1142
E-mail	machizukuri@city.nasukarasuyama.lg.jp

## 栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須烏山市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	那須烏山市ふるさと応援事業	
対象年度	28	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	1,000,000	
出資金	300,000	会費 7人×40,000~50,000円(傾斜あり)
野菜・加工品販売売上金	1,200,000	売上金
計	2,500,000	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
印刷製本費	400,000	400,000	200,000	0	チラシ印刷代
消耗品費	20,000	20,000	10,000	0	コンテナ、ロープ、マジック、テープ、袋
使用料及び賃借料	800,000	580,000	290,000	220,000	軽トラ等賃借料
原材料費	940,000	0	0	940,000	野菜仕入れ代
食糧費	40,000	0	0	40,000	打合せ時飲み物代等
賃金	300,000	0	0	300,000	賃金等
				0	
				0	
				0	
				0	
計	2,500,000	1,000,000	500,000	1,500,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須烏山市
事業名	那須烏山市観光交流創造事業
事業主体の名称	クロスアクション
代表者の名称	高橋誠一
事業主体の所在	栃木県那須烏山市金井2-23-15
事業主体の概要	・団体の目的:那須烏山市における交流人口の獲得 ・設立年月日:平成27年6月1日 ・構成員等:7名(那須烏山市に居住し、賛同する住民)
当該事業に係る地域の現状と課題	那須烏山市はユネスコ無形文化遺産登録申請中の山あげ祭をはじめとする観光資源が豊富であるが、市内の観光資源を活用する団体間のネットワーク体制が構築されておらず、パッケージ化して観光受け入れを行ったり、観光客が市内の観光スポットや団体間を流動的に回遊させることが出来ていないほか、市内在住者でさえ地域で活動する団体と接触する機会が希薄であり、郷土愛の醸成がなされていない
事業目的	地域間交流や市内団体による企画の開催などの事業を通して、地域内に住む人の郷土愛と観光客の地域への愛着を育むとともに社会参画意識を醸成し、市民主体の持続可能なまちづくりの推進に寄与する
事業概要	平成28年から平成30年度 ①体験型観光ツアーコーディネート事業 えにしトラベル主催モニターツアー現地行程プランニング(7月) SNSによる情報発信を目的とした小規模ツアー「プチ旅」の実施(9月、11月) ②都市農村交流イベント事業 地元里山体験団体「自然と仲良くする会」との共催イベントの実施(9月) 地元酒造会社と連携したマルシェイベントの実施(10月) ③ワークショップ企画、運営事業 市内で活動するまちづくり団体やものづくりの実践者を招いた体験講座実施 (9月から3月にかけて年4回実施し、合計100名程度の参加を想定) ④地域PR事業 マルシェイベント「ナカマルシェ」(12月)及び道の駅「ろまんちっく村」での観光PRブース出展(2月) 観光PR資料作成及び広報活動 観光PR用にリーフレット2000枚を作成し、ゲストで参加したときに配布。今後は市内はもちろん、県内、首都圏に設置。 SNS等を利用した観光情報発信 ⑤地域資源を活用した体験コンテンツのパッケージ化 烏山和紙をはじめとする地域資源を活かしたワークショッププログラムの開発  【平成29年度】前年の反省点を踏まえ、①②③④の事業を実施。拠点整備に関しては来年度以降に本格的に整備していく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	基本目標:本市への新しいひとの流れをつくる KPI:観光入込数 H26年度 471,027人→H32年度 年間70万人以上 田舎暮らし体験等の体験ツアー等の参加者数 H26年度 72人→H32年度 200人以上 基本目標:時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る KPI:まちづくりチャレンジプロジェクト事業の採択団体数 12団体

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①体験型観光ツアー コーディネート事業 ②都市農村交流イベント 事業 ③ワークショップ企画、 運営事業 ④地域PR事業 ⑤地域資源を活用した 体験コンテンツのパッ ッケージ化	①体験型観光ツアー コーディネート事業 ②都市農村交流イベント 事業 ③ワークショップ企画、 運営事業 ④地域PR事業 ⑥拠点整備	①体験型観光ツアー コーディネート事業 ②都市農村交流イベント 事業 ③ワークショップ企画、 運営事業 ④地域PR事業 ⑥拠点整備		①体験型観光ツアー コーディネート事業 ②都市農村交流イベント 事業 ③ワークショップ企画、 運営事業 ④地域PR事業
事業費	1,120,000	1,040,000	990,000	3,150,000	500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	840,000	740,000	2,580,000	
うち県交付金	500,000	420,000	370,000	1,290,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	120,000	200,000	250,000	570,000	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	那須烏山市まちづくり課 まちづくりグループ
担当者名	阿相美由紀
電話	0287-83-1151
FAX	0287-83-1142
E-mail	machizukuri@city.nasukarasuyama.lg.jp

## 栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須烏山市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	那須烏山市観光交流促進事業	
対象年度	28	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	1,000,000	
参加費収入	120,000	ツアー参加費 30人×4,000円
計	1,120,000	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	160,000	160,000	80,000	0	ワークショップ講師謝金 研修費
使用料及び賃借料	450,000	450,000	225,000	0	車両及び施設借用費 イベント機材及びオフィス機器
通信運搬費	30,000	30,000	15,000	0	イベント案内郵送費
印刷製本費	200,000	200,000	100,000	0	リーフレット、チラシ印刷代
消耗品費	60,000	60,000	30,000	0	コピー用紙、ペン等事務用品
旅費	100,000	100,000	50,000	0	PR活動費
賃金	120,000	0	0	120,000	ボランティアスタッフ日当分
				0	
計	1,120,000	1,000,000	500,000	120,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須烏山市
事業名	那須烏山市木の駅プロジェクト
事業主体の名称	那須烏山市木の駅プロジェクト実行委員会
代表者の名称	大森 正
事業主体の所在	那須烏山市大沢497
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:那須烏山市の森林資源及び市内外の人的資源を活用した里山の環境整備及び林業の活性化</li> <li>・設立年月日:平成27年6月15日</li> <li>・構成員等:15名(那須烏山市に居住し、賛同する住民)</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	八溝地域では、地元経済の縮小等から人口減となっており、林業従事者の後継者不足等により、林地残材が放置されている。林地残材の放置されないよう、効率のよい残材の回収方法をどうするか、また、回収した残材を木質バイオマス等にすることで有効に活用し、再生可能エネルギーの積極的な利活用を行い、いかに地域経済の活性化を行うかが課題である。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>①森林を佳良な状態に整備する。</li> <li>②林地残材の有効活用を通して地域経済の活性化を図る。</li> <li>③再生可能エネルギーの積極的利活用の推進を図る。</li> </ul>
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①地域振興券の利用に向けた研究</li> <li>・林地残材の回収した際に市内店舗利用促進となるよう、那須烏山市商工会との連携によるわくわく商品券等と交換。</li> <li>②林地の残材をバイオマス発電の燃料として販売することによる環境整備(土台作り)</li> <li>・出荷材の確保。会員が林業関係者のため依頼され伐採し、土場(南那須地区)まで運ぶ。</li> <li>・市町による発電利用に供する木質バイオマスの代行証明の実施。</li> </ul> <p>【平成29年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度の反省点を踏まえ、事業を実施。将来的には再生可能エネルギーによる発電施設にバイオマス燃料を利活用できるよう取り組んでいく。</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る</p> <p>再生可能エネルギーの積極的利活用の推進 KPI:再生可能エネルギーによる発電予定量の市域電力使用量に占める割合</p> <p>H26年度 15.2%→H32年度 30%</p> <p>KPI:まちづくりチャレンジプロジェクト事業の採択団体数 12団体</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	林地残材をバイオマス燃料として販売 地域商品券等による地域経済活性化	林地残材をバイオマス燃料として販売 地域商品券等による地域経済活性化			林地残材をバイオマス燃料として販売 地域商品券等による地域経済活性化
事業費	2,100,000	2,100,000		4,200,000	1,900,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000		2,000,000	
うち県交付金	260,000	260,000		520,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,100,000	1,100,000	0	2,200,000	1,900,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	まちづくり課まちづくりグループ
担当者名	阿相美由紀
電話	0287-83-1151
連絡先 FAX	0287-83-1142
E-mail	machizukuri@city.nasukarasuyama.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須烏山市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	那須烏山市木の駅プロジェクト	
対象年度	28	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	1,000,000	
会費	100,000	各自,薪を販売した売り上げを会費として計上している
売上	1,000,000	材の売り上げ
計	2,100,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
賃金	100,000	0	0	100,000	賃金等
報償費	1,450,000	530,000	25,000	920,000	協力団体への謝礼(50,000円) 所有者への謝金(地域商品券、現金)
消耗品費	20,000	20,000	10,000	0	コピー用紙、封筒、インク代
食糧費	30,000	0	0	30,000	会議用飲食代
印刷製本費	50,000	50,000	25,000	0	チラシ等
通信運搬費	20,000	20,000	10,000	0	郵送料
保険料	50,000	0	0	50,000	傷害保険、盗難保険
委託料	350,000	350,000	175,000	0	材運搬費
使用料及び賃借料	30,000	30,000	15,000	0	フォークリフト使用料
計	2,100,000	1,000,000	260,000	1,100,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合